

2025-2026年度

西脇ロータリークラブ週報



No.24 第2886回 令和8年2月16日

今週の歌:それこそロータリー

プログラム 「ゲストスピーチ」
国際A級トライアルライダー 藤原慎也氏

会長 吉田 康志 幹事 赤井 浩起
例会日 月曜日 12:30-13:30
例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000
事務局 西脇商工会議所内
〒677-0015 西脇市西脇 990
Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

吉田会長のテーマ 「ロータリアンの自覚と誇りをもってロータリーライフを楽しもう」

2月9日(月) 第2885回例会記録

◎出席 会員数 42名 (出席免除4名・休会1名)
出席 40名 (例会出席30名 MU7名)

会長の時間 吉田康志会長

本日2月9日は「ふくの日」です。協同組合・下関ふく連盟が1980年(昭和55年)に制定しました。日付は「ふ(2)く(9)」と読む語呂合わせからです。



本場下関では河豚(ふぐ)を「福」と同じ発音で縁起がいいことから「ふく」と言っています。ふくの普及と宣伝を目的に制定されました。ふぐは長い間食べることを禁止されていました。豊臣秀吉が行った朝鮮出兵の際に、多くの武士が朝鮮半島に近い九州(下関とする説もあり)に集結したときに、そこで獲れたふぐを、調理して食しました。その結果、ふぐの毒にあたって中毒死する者が相次ぎました。そこで豊臣秀吉は激怒して「河豚食禁止の令」を出し、全国的にふぐを食べることを禁止してしまいました。豊臣秀吉が亡くなり、徳川の世になってもその禁止令が解かれることはありませんでした。(庶民の間で密かに「てっぽう(鉄砲)」という隠語で呼ばれ、食べ続けられていた)明治20年(1887)の暮れ、当時初代内閣総理大臣を務めていた伊藤博文公が下関の春帆楼に宿泊した折、海が大時化でまったく漁がなく、提供する料理がなく困り果てた店主は打ち首覚悟で禁制だったふぐを御膳に出しました。若き日、高杉晋作らと食べてその味を知っていた伊藤公は、

初めてのような顔をして「こりゃあ美味しい」と賞賛。翌明治21年(1888)には、当時の山口県令(知事)原保太郎に命じて禁を解かせ、春帆楼はふぐ料理公許第一号として広く知られるようになりました。昨今、通販でおいしいふぐセットが安く手に入るようになりましたので、皆様もご家庭でご賞味いかがでしょうか。

幹事報告

(来 信)

- 地区事務所より、
 - ・2026-27年度 オラインカ H.ババロカ R I 会長メッセージ
「CREAT LASTING IMPACT」
「持続可能なインパクトを生み出そう」
 - ・2026年会長エレクト・ラーニングセミナー (PELS) のご案内
3月14日(土)~15日(日)
於：ホテルモントレ姫路
 - ・2026-27年度クラブ参加資格認定
 - ・R I 日本事務局財団室 NEWS
- ロータリーの友事務所より、2026-27年度版ロータリー手帳お買い上げのご案内 (1部880円)
※申込用紙をお配りしておりますので、購入希望の方は氏名をご記入ください。
- 豊岡RCより、豊岡ローターアクトクラブ10周年記念式典登録のご案内
3月21日(土) 13:30~
於：豊岡市交流センター

- 西脇市教育長より、令和 8 年度西脇市「トライやる・ウィーク」推進協議会委員の推薦について
- 健康ひょうご21 県民運動北播会議より、令和7年度「健康ひょうご 21 県民運動に係る参画団体取組状況」の報告について
- 富良野RC、柏原RCより、会報。

(報告)

・3/8 地区大会出席義務の皆様登録料の請求書をお配りしておりますので、よろしくお祈いします。

委員会報告

OIM実行委員会

村上康憲IM幹事

2/16 例会終了後、IM実行委員会を開催しますので、実行委員および部会リーダーはご予定お祈いします。

ニコニコ箱

- 伊達会員 お世話になりありがとうございました
- 東口会員 申し訳ございません。本日、例会早退させていただきます。
- 金田会員 遅れてすみません。
- 田井会員 お祝いありがとうございました。
- 数原会員 今週も早退します。申し訳ありません
- 藤井(英)会員 西脇北高校インターアクトクラブ活動報告、よろしくお祈い致します。

上郡会員 先日、園田さんにお世話になりました

※本日のニコニコ 30,000 円

※本年度累計額 (2/9 現在) **928,386 円**

🌸 本日の花：カーネーション

プログラム

「西脇北高等学校IAC活動報告
西脇北高IAC 宮本真榮さん
顧問 山田先生、三宅先生



10月31日(金)から11月2日(日)の2泊3日で能登半島地震復興現地ボランティアに参加しました。本校の生徒9名と兵庫県立有馬高等学校の生徒16名、兵庫県立姫路商業高等学校の生徒6名、関西大学生2名の計33名が石

川県七尾市に向かいました。能登半島地震は2024年1月1日に発生しました。2年たった今もまだ復興が行き届いていないところが多く残っており、震災の重さを再度確認しました。被災された方々1人1人に向き合い、作業を進めていくことができ、「ボランティアをさせていただく」気持ちを持って取り組むことができました。



以下、参加生徒の感想です。

・震災にあった家の家財の片付けなど貴重な体験をさせてもらった。そこに住んでいた人が大切に使用していたものを自分が捨ててしまうということにとても抵抗があった。それでもその人の思いを胸にグループで協力をして家の片付けをすることができた。今回のボランティアを経て、人の温かい気持ちに触れることができた。

・今回、家屋の清掃を行いました。思い出の品がたくさんある中で家主の方は「すべて捨てても構わない。」とおっしゃられていたのでリーダーさんの指示に従いながら活動ができた。人の思いに寄り添うこととはどういったことなのか、人生の中で大切なことを学ぶことができた。

最後の解団式では、ボランティア活動を振り返りながら、他校の生徒との共同生活を通して得られた学びを全員で共有しました。災害復興ボランティアを通して、家屋内の家具運搬やがれきの撤去に取り組む中で感じた責任の重さや支援の大切さについて、参加者一人ひとりが深く考える機会となりました。

今後のプログラム

- 2月23日(月) 休 会 (天皇誕生日)
- 3月9日(月) プロバスクラブとの合同例会
- 3月23日(月) 休 会 (定款により)

- 3月2日(月) 担当：プログラム委員会
- 3月16日(月) 担当：クラブ管理運営委員会
- 3月30日(月) 担当：会員維持増強委員会